

17 経営指標

- (1) 樹齢6年生以降（若木段階）から、10a 当たり 10 万円以上の粗収入を期待できる(表-20、-21 参照)。
- (2) 10a 当たり 36~40 本の計画密植栽培では、樹齢 11 年生以降、間伐等が必要不可欠となる。このため、一次的には、収量及び粗収入も低下するが（図-167、表-21 参照）、その後、収量、粗収入ともに徐々に増加する。
- (3) 成木（樹齢 11 年生以降）、10a 当たり粗収入を 15 万円以上見込まれる。
- (4) 10a 当たりの岡山甘栗の粗収入は、水稻、黒大豆と比較し（岡山県農林水産部 2016）、若木段階では、これらを上回り、成木段階でも同程度である（参考資料 表-22 参照）。

表-20 岡山甘栗の粗収入試算例

樹 齢 (年)	粗 収 入 (円/10a)		
	A	B	C
~5	81,115	64,892	60,836
6~10	209,601	167,681	157,201
11~14	156,865	125,492	117,649

注1. キロ単価 A:1000円/kg B:800円/kg C:750円/kg
 2. 樹齢11年生以降、間伐(50%)によるクリ生産量低下を反映

出典：西山（2019b）

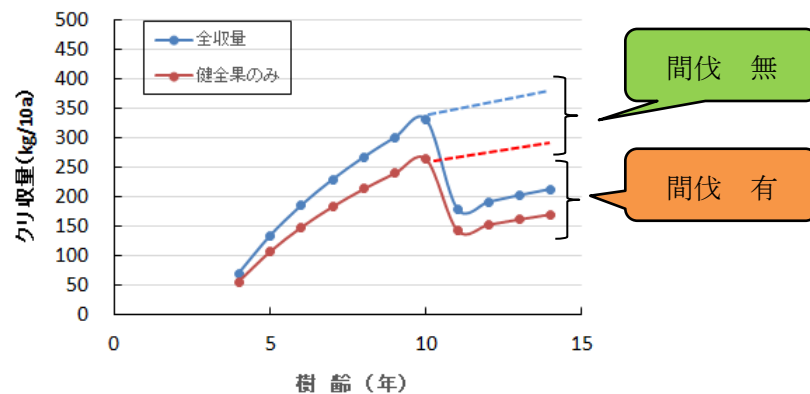


図-167 樹齢別クリ収量の試算（岡山甘栗の場合）

注. 破線は間伐を実施しない場合の予測を示す

表-21 樹齢別粗収入の比較

樹 齢 (年)	岡山甘栗
4 ~ 5	6 ~ 8 万円台
6 ~ 10	15 ~ 20 万円台
11 ~ 14	11 ~ 15 万円台

注. 表中の数値は10a当たりの粗収入を示す

表-22 水稻・黒大豆の粗収入

項 目	水 稻	黒大豆
単 収 (kg/10a)	540	150
単 価 (円/kg)	200	953
粗収入 (円/10a)	108,000	142,950

注.平成27年度岡山県農業経営指導指標を参考